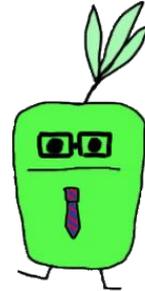


Sho



Chiku



Bai



第3分科会 チーム松竹梅 研究成果発表

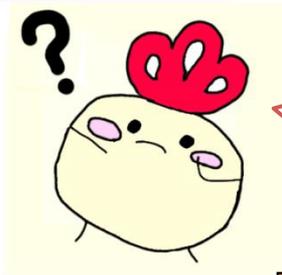
プロジェクト特性に見合ったレビュープロセスの適用と
レビュー成熟度に応じたレビュー改善の提案

研究員：伊藤浩子（キャノンソフトウェア株式会社）
井田達也（テックスエンジニアリング株式会社）

1. 研究員紹介

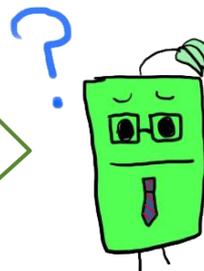
品質担当の悩み

改善推進スタッフ
伊藤 浩子



現場は、すぐに「できない」
「時間がない」と言って、
いつも反発する。

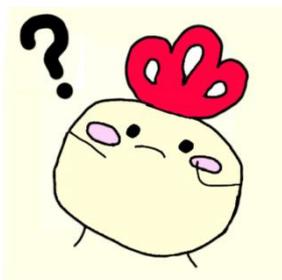
開発現場はやることがいっぱい。
現場のこと知らないくせに、
いつもうるさいなあ。



開発エンジニア
井田 達也

開発者の悩み

1. 研究員紹介



レビューをよくしたい
という思いは同じなのに…



2.背景

失敗プロジェクトがなくなるならない

上流工程の成果物品質が悪い

レビューで欠陥を除去しきれていない

レビュー改善&レビュー強化

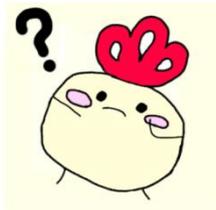
2.背景



レビューで欠陥を除去できているプロジェクト



レビューで欠陥を除去できていないプロジェクト



何が違うの？

3.先行調査結果考察

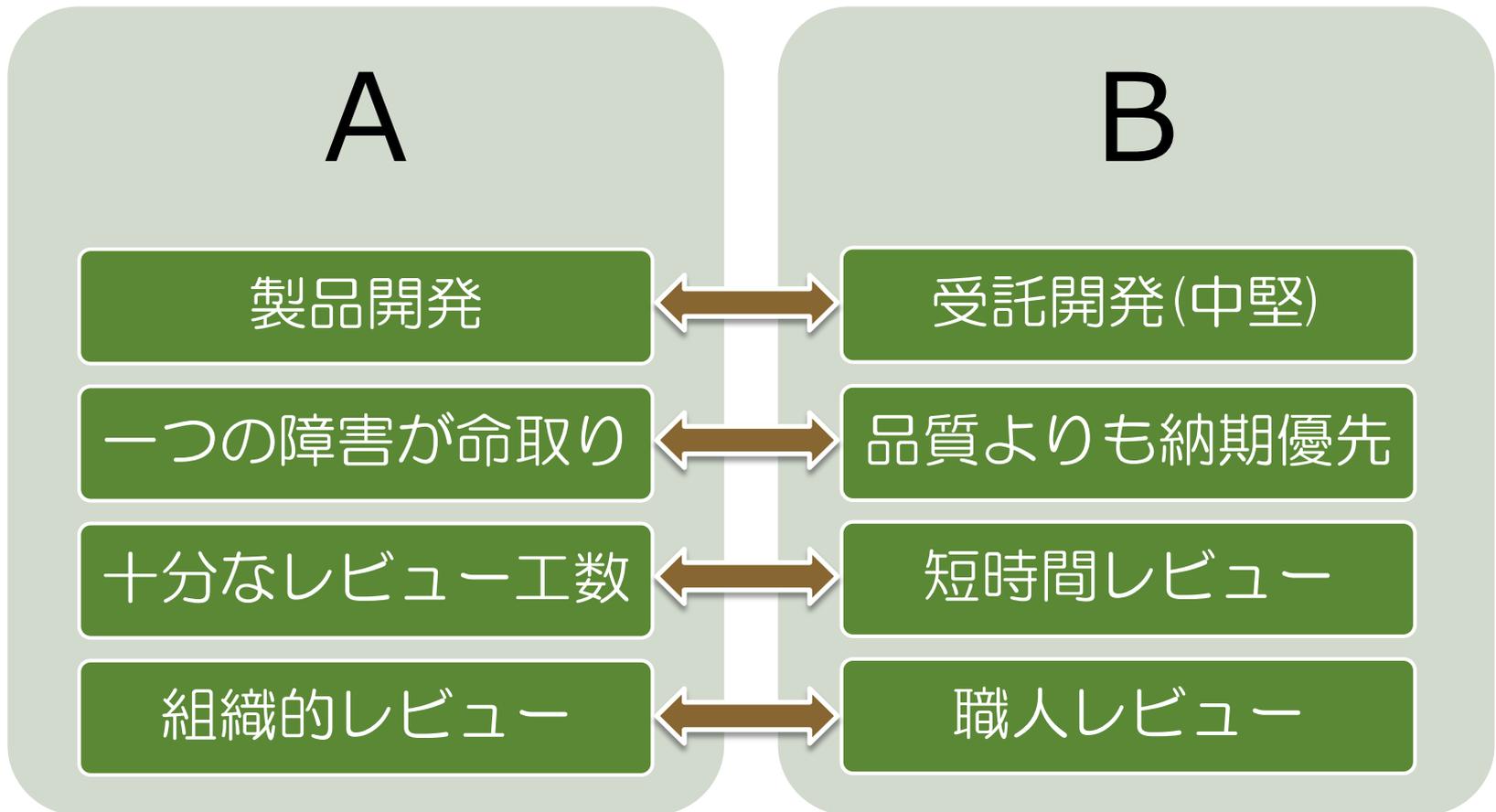
欠陥検出率の異なるプロジェクトの比較

	Aプロジェクト（欠陥検出率高）	Bプロジェクト（欠陥検出率低）
PJ特性	製品開発機能追加	受託システム機能追加
売上規模	30,000千円	15,000千円
フェーズ欠陥阻止比率 （基本設計レビュー時）	81.4%	64.4%
工数密度	0.6（人時／頁）	0.2（人時／頁）
レビュープロセス	◎文書化	×未定義
レビュー観点	◎あり	×なし
レビューの工夫	◎作成者以外が説明を担当	×特になし
有識者の参画	◎保守、検証担当者が参画	×なし
メトリクス測定	◎継続的な測定と分析	△測定開始
品質基準	◎あり（工程の移行判定に使用）	×なし

* 作りこみ工程（ここでは基本設計）で混入した欠陥のうち、発見工程（ここでは基本設計レビュー）で検出できた欠陥の割合

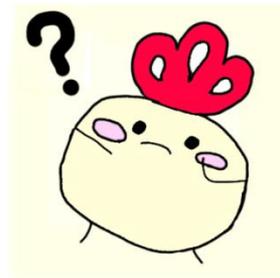
3.先行調査結果考察

AプロジェクトとBプロジェクトのレビューの違いはどこから生まれるか？



3.先行調査結果考察

PJの特性やレビュー成熟度が違えば、
レビュープロセスや改善のアプローチも
違うのでは？



4.研究課題

課題

1

自分たちのプロジェクトに合った
レビュープロセスを知る方法

課題

2

自分たちのレビュー成熟度を知る方法と
改善する方法

課題

3

1と2を簡単に実現する方法

5.提案

課題

1

自分たちのプロジェクトに合った
レビュープロセスを知る方法

課題

2

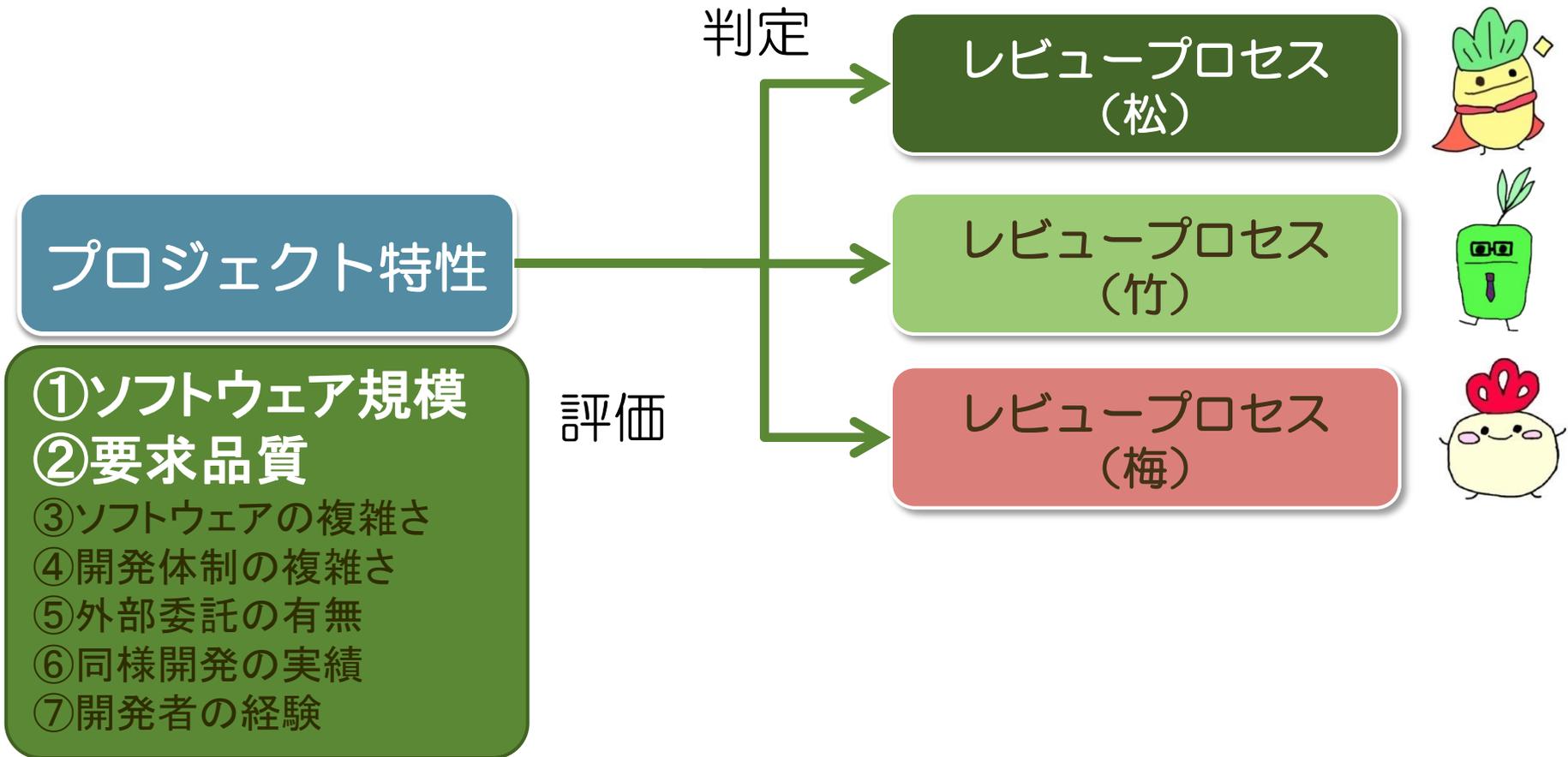
自分たちのレビュー成熟度を知る方法と
改善する方法

課題

3

1と2を簡単に実現する方法

5.提案



5.提案

要求品質レベルに
重点を置いた判定に
なっているよ！



		ソフトウェア規模		
		大	中	小
要求品質レベル	高	松	松	松
	中	松	竹	竹
	低	竹	梅	梅

5.提案

松 最も厳格な プロセス	インスペクション 書式レビュー プレレビュー 高い欠陥検出率	大規模 要求品質高
竹 無駄のない 定番プロセス	チームレビュー 要所をおさえたレビュー スタンダード	大規模～中規模 要求品質高
梅 最低限やるべ き省コスト型 プロセス	最低限やるべきことを、 おさえたレビュー レビューの習慣づけ	小規模 短納期

5.提案

課題
1

自分たちのプロジェクトに合った
レビュープロセスを知る方法

課題
2

自分たちのレビュー成熟度を知る方法と
改善する方法

課題
3

1と2を簡単に実現する方法

5.提案

6つの診断カテゴリ

Metrics
(測定・分析・記録)

Resources
(レビュー資源)

Mind
(意識・組織文化)

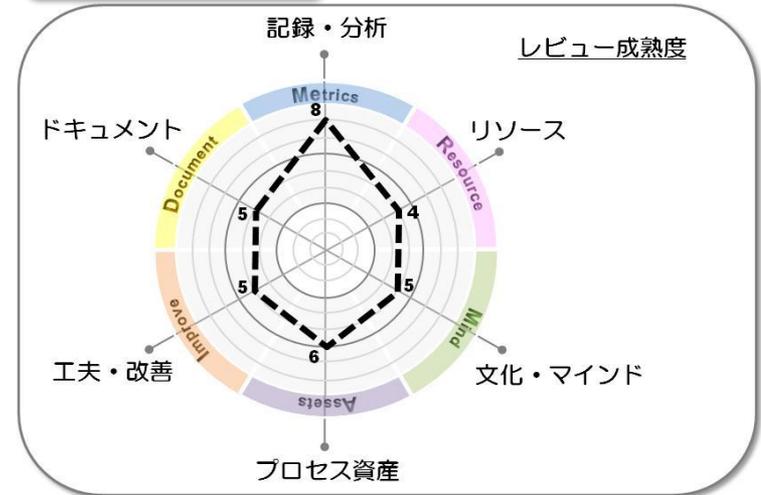
Assets
(プロセス資産)

Improvement
(レビュー改善状況)

Documents
(ドキュメント標準)



診断結果



改善のメッセージ



レビュー記録・分析は弱いようです。まずは議事録や指摘一覧をきちんと記録してまとめるところから始めてみましょう。

5.提案

選択肢1～3を
得点に換算

カテゴリ	設問	選択肢
Metrics 記録・分析	レビュー議事録 指摘事項の記録	1:記録しない 2:人・状況によっては記録しない場合がある 3:常に記録している
	メトリクス測定	1:測定しない 2:人・状況によっては測定しない場合がある 3:常に測定している(ルールが決まっている)
	メトリクス分析 ・原因分析	1:分析しない 2:人・状況によっては分析しない場合がある 3:常に分析している(ルールが決まっている)

5.提案

課題
1

自分たちのプロジェクトに合った
レビュープロセスを知る方法

課題
2

自分たちのレビュー成熟度を知る方法と
改善する方法

課題
3

1と2を簡単に実現する方法

5.提案

この手法を簡単に実現できるツール
『MeRMAID』を開発
Metrics Resources Mind Assets
Improvement Documents



MeRMAIDの特徴

- Excel
- 設問に答えて診断ボタンを押すだけ
- 結果が一瞬で視覚的に表示される

6. 研究のこだわり

現場で

- NO! 専門知識!
- NO! 煩雑!

- ☺ わかりやすい
 - 3つのプロセス
- ☺ 見やすい
 - 視覚的な表示
- ☺ 親しみやすい
 - ゆるキャラ採用

すぐ

- NO! データ!
- NO! お金!
- NO! 時間!

- ☺ 手間が少ない
 - 設問に答えるだけ
 - 瞬時に結果表示
 - Excel

役に立つ

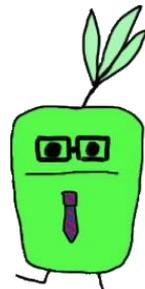
- NO! 形骸化!
- NO! 手間!

- ☺ 簡単にわかる
 - 最適プロセス
 - PJの実力
 - 改善ポイント

Sho



Chiku



Bai



ご清聴ありがとうございました